

~愛しているから守りたい~

VOL.2



ゆんたく シーサー

ゆんたくとは、
沖縄の方言で
「おしゃべり」
のことです。

中国高官が尖閣問題で
日本と一戦をも辞さない!
「武力行使によって尖閣諸島を実効支配すべき」



金城竜郎の
ニュースから沖縄を読み解く!

未来ウォッチ

基地があるから
「危険」なのではない
基地があるから
「守られている」!

元防衛大学校教授 / 本村久郎

シーサー・シーちゃん和やく博士の
よく分かる
中国による
侵略の歴史
comic



愛する私たちの沖縄を守りましょう！

「核心的利益」という言葉をご存知でしょうか？ あまり聞きなれない言葉です。しかし、今年になって中国が盛んに使い始めています。実は中国で「核心的利益」とは、それを守るためなら「武力行使も辞さない」という意味です。

尖閣諸島はれっきとした沖縄県石垣市に所属する島々であり、日本の国土です。しかし中国は今、日本がもし、尖閣諸島を自分の領土だと言い張るなら、「軍事力を使ってでも奪い取る」と、宣言しているわけです。

そうです。今、沖縄県の島をめぐって、大変なことが起きようとしています。中国に沖縄県が侵略される危機が迫っているのです。

しかし不思議な事に、県民にとって極めて重大なこうした事態を、沖縄のマスコミは

あまり報道していません。それどころか、地元の新聞やテレビは連日「オスプレイ反対」のニュースで溢れかえっています。

なぜ米軍が、県内の反対の声を知りながらも、普天間基地へのオスプレイの配備を急いでいるのでしょうか？ その理由の一つが、アメリカは中国の尖閣侵略の動きを察知し、いざというときの最大の抑止力にするためだと、言われています。

いま必要なのは、中国の脅威に対する正しい情報と、それを知った上での議論です。この「ゆんたくシーサー」VOL.2が、この問題について、県民の皆様が考える材料となることを、心より願っています。

幸福実現党出版局長

矢内筆勝

contents

3. comic
シーサー・シーちゃんとヤク博士の
よく分かる
中国による侵略の歴史

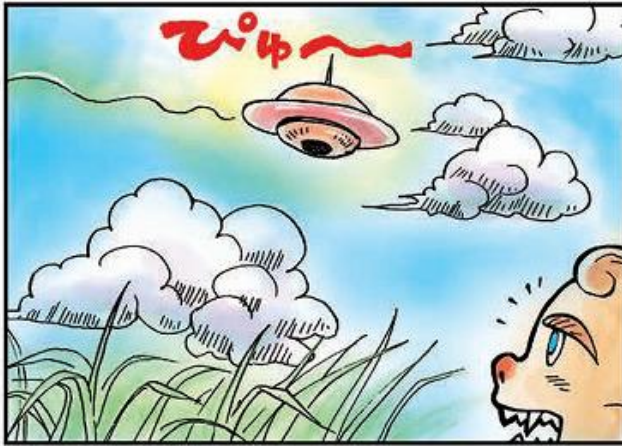
10. column
金城竜郎の
ニュースから沖縄を読み解く！
未来ウォッチ file.1

11. column
基地があるから
「危険」なのではない
基地があるから
「守られている」！
元防衛大学校教授 / 本村久郎

後編

12. topics
中国高官が尖閣問題で
**「日本と一戦をも
辞さない」！**
「武力行使によって尖閣諸島を
実効支配すべき」

14. comic
中国の工作活動に
だまされてはいけない！
**オスプレイの
真実**



シーサー・シーちゃんとヤク博士の
よく分かる
中国による侵略の歴史



甘くて美味しい
沖縄名産だよ

今ね さとうきび
食べてたんだ



yak博士
お久しぶり

おお
おお
シーちゃん
元気かの？



こっちは
さつきまで
中国をUFOで
見てきたところ
じゃ



すごくいい！

わしは
世界平和を
研究している
yak博士
じゃからのお
UFOに乗って
地球上のどこへでも
行くぞ
過去も未来も
時空を超えてな



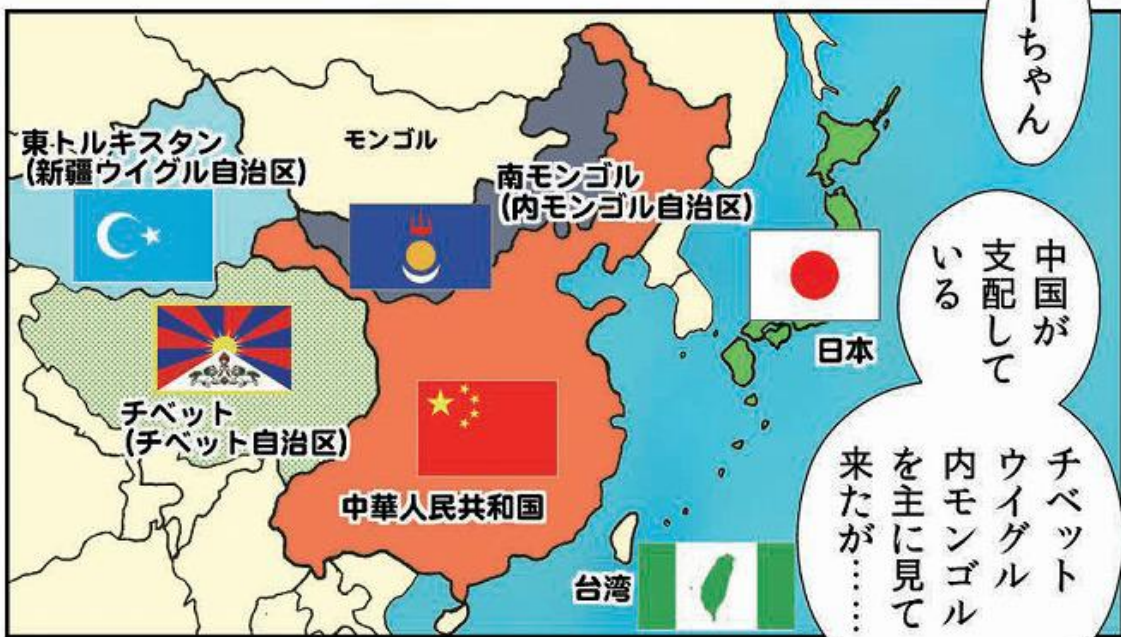
最近
行ったのは
チベット
そして…
内モンゴル
ウイグル
とな

ふええ
どうして？

わしら
地球研究員は
中国の動きに
注目しておる







チベット120万人
ウイグル200万人が
虐殺されたよ

チベットでかつて
約7000あった
寺院の大部分が
壊され

棄教を強要された
17万人の僧侶が
拷問の末 死亡…
侵略前
30万人いた僧侶は
現在6000人じや



*
モンゴルでは
指導者と
知識人…
文字を読めた人は
ほとんど殺された

50種類以上の
拷問が考案され
実行された



真っ赤に焼いた棍棒で
腹部を焼き 穴をあける
牛皮のムチに
鉄線をつけて殴る

傷口に塩を
塗り込み
熱湯をかける

太い鉄線を
頭部に巻き
破裂するまで
ペンチで
締め上げる

焼いたシヨベルで
頭部を押し付け
焼き殺す
…など



*『中国共産党によるモンゴル人ジェノサイド実録』より

じゃあ沖縄も？
日本も
中国に支配されたら
そうなるの？



侵略や虐殺や拷問
それらはみんな
あつては
ならんことじゃ



シーちゃん



チベットやその他の
中国から支配を
受けている人々には
「自由」も
「基本的人権」もない
日本を
チベットのよう
にはならん
そんな悲惨なことに
ならぬよう心せねば！



ぼくは
沖縄を守る！

「本当の平和」
のために



●中国の侵略を許さないという意志を持って進もう。

ニュースから沖縄を読み解く!

未来フォロワー

2012年3月14日(水) 沖縄タイムス

「ラサ蔵戒」

中国チベット暴動から4年ルポ

「武装警察巡回 声潜める住民」



この沖縄タイムスの記事にもあるように、中国の自治区となつているチベットでは、「自由」を求めて、抗議の焼身自殺をする人々があとをたちませ

ん。
チベットの悲劇は、決して遠い国の出来事ではありません。将来、私たち沖縄県民にも降りかかるかもしれない未来なので

【ラサ共同】中国チベット自治区の区都ラサ市で2008年に大規模暴動が起きてから14日で4年。当局は再発を警戒して市内の警備を再び強化、チベット仏教寺院周辺では武装警察が巡回するなど緊張が続いていた。自治区周辺地域で僧侶や住民の抗議の焼身自殺が相次ぐ中、消火器を持ち歩く警官もいた。

暴動後に一時封鎖された市中心部の仏教寺院ジョカン寺一帯は土産物店などが並ぶ観光スポットだが、12日午後には数十人の警官が動員され、通行人に声を掛けては名前をメモしていた。焼身自殺や暴動による放火に備えているのか、一部の警官は消火器を持ち歩き、散水車も巡回していた。

市内の別の仏教寺院でも警官が常駐。僧侶は参拝者らと言葉を交わすことを拒んだ。「暴動後に当局に連れ去られ、行方が分からなくなった僧侶も多い」と住民は声を潜めた。

チベット族の僧侶や住民の焼身自殺が相次いでいることを知っている住民は見当たらず、当局が情報を封じ込めていることをうかがわせた。(中略)

「表面上は平和だが、うそで塗り固められている」。当局の締め付けに僧侶や住民らは精神的に追い詰められ、一部が自殺という極端な行為に駆り立てられていると僧侶は説明。「私たちが求めているのは独立ではない。(普通の人として)お経を読み、信仰する自由だ」と訴えた。

地となって奪われ、県民の私有財産はすべて没収されるでしょう。その上で、会社や店の経営もほとんど中国人に奪われま

す。反対する人たちは虐殺され、または強制収容所に送り込まれるでしょう。そしてすべての自由が奪われ、基本的な人権すら認められなくなるでしょう。

これは、単なる空想ではありません。実際に今、ウイグルやチベットで起きていることです。今、沖縄がかるうじてチベットのようにならずに済んでいるのは、沖縄に米軍が駐留しているからです。

「外国からの侵略に備えて最低限の防衛能力を持つ」ことは、世界の常識です。中国の侵略から沖縄を守るために、今必要なことは日米同盟をさらに強固なものにしてゆくんじ。そして、一刻も早く先島諸島に自衛隊を配備することです。万全の態勢で守りを固めた上で、政府は中国と対話を進めるべきです。

基地があるから『危険』なのではない 基地があるから『守られている』!

後編

元防衛大学校教授

元航空自衛隊幹部学校 教育部長 本村久郎



尖閣諸島をめぐる、中国の横暴な恫喝外交が、どんどんエスカレートし、まるで開戦前夜のような様相を呈しています。そんな彼らにも、実は怖いものが一つだけあります。それは、沖縄にいるアメリカ海兵隊です。

沖縄に米軍基地がある今の状態で、もしも沖縄に攻撃を仕掛ければ、中国はアメリカを直接的な敵に回すことになります。いくら軍事拡大を進める中国であっても、やはりアメリカと真正面から戦って、勝てる可能性はまずありません。

ですから、もしも米軍が沖縄から撤退したり、あるいはアメリカが直接、紛争に手を出せないような状況が生じて、そこに力の「空白」が生まれた時に、すかさず中国はその機を逃さず進出してくるものと思われま

軍隊を持たないため チベットは奴隷状態に

チベットが、そのよい例です。もともとチベットには軍隊がなく、中国の侵略に対して、義勇兵を募って国境警備隊を作って戦っていました。

中国が侵攻してきた時、中国と内通していたチャムド地区の知事がチベットの弾薬庫を爆破させて投降を主張した結果、火器を失ったチベット軍は



チベット自治区における弾圧

人民解放軍に殲滅され、チベットは中国にやすやすと占領されてしまいました。



治安当局の暴挙に抗議をするウイグル人

フィリピン

もまた同じです。フィリピンにはかつて米軍基地がありましたが、反基地闘争で米軍が撤退した途端に、フィリピン近海に中国海軍があっという間に侵攻してきました。

子孫をのために 日本を守る覚悟を

私が沖縄の方々に言いたいのは、「皆さんは、チベットやウイグルのようになってもいいのですか?」ということなのです。天安門事件をみてもわかるように、彼らは、自国民、ですら、平気で簡単に虐殺や粛清（処刑）を行っています。もしも日本が中国の属領になったら、あれだけの反日感情を持っている中国人が、どれほど残酷なことを日本人に対して行うかは、容易に想像がつくでしょう。



そのような国がすぐ隣りにあるということを、沖縄の人々にはもっと理解してもらいたいと思っています。私たちの子孫のためにも、今こそ、「日本を守る」という覚悟が必要です。

中国高官が尖閣問題で

「日本と一戦をも辞さない」!

「武力行使によって尖閣諸島を実効支配すべき」

中国の軍や政府の高官から、「武力行使によって尖閣諸島を実効支配すべき」という発言や提言が相次いでいます。

7月2日には、中国のテレビ番組に出演した中国人民解



人民解放軍 羅援少将

放軍の羅援少将が、「尖閣占領のための六大戦略」を発表。尖閣諸島を「釣魚島町」という中国の行政区域にし、ミサイル発射実験を含む軍事演習を行うという衝撃的な内容です。(下の表参照)

また7月12日には、中国国土資源省は、中国海洋局が所管し、海洋権益における法執行をになう「海監総隊」の孫書賢副総隊長が、「も

少将の発言は荒唐無稽な妄言ではありません。羅援少将は今年3月にも、「東沙諸島、西沙諸島、南沙諸島に県を設置することで、中国の行政管轄権を知らしめる」と公言。その3ヵ月後の6月に、中国政府が西沙・南沙・中沙の三諸島を海南省の市に格上げ

一、釣魚島を中国の行政区域「釣魚島町」とする。

二、領海を法律で制定し、全人代で宣言する。

三、釣魚島とその近海で、ミサイル発射実験を含む軍事演習を実施する。

四、国家海岸警衛隊を設置し、釣魚島と近海の警護にあたる。

五、釣魚島で、石油探掘、漁業、観光などの事業を行う。

六、南シナ海と尖閣諸島の領有を、世界に対してアピールする。

羅援少将が発表した「尖閣占領のための六大戦略」

「尖閣は琉球」と明政府が認めていた!!

7月17日の産経新聞の一面トップに、『尖閣は琉球』明上奏文——「明代から領土」中国の主張崩壊」という記事が掲載されました。

「尖閣諸島（沖縄県石垣市）の一つ、大正島について、中国・明から1561年に琉球王朝（沖縄）へ派遣された使節、郭汝霖が皇帝に提出した上奏文に「琉球」と明記されていたことが、石井望・長崎純心大准教授（漢文学）の調査で分かった」とい



産経新聞7月17日の記事。

うもので、これによって「中国は尖閣諸島を『明代から中国の領土で台湾の付属島嶼だった』と主張しているが、根拠が大きく崩れることになる」としています。

石井准教授は記事の中で「中国が尖閣を領有していたとする史料がどこにもないことは判明していたが、さらに少なくとも大正島を琉球だと認識した史料もあったことが分かり、中国の主張に歴史的根拠がないことがいっそう明白になった」と指摘しています。

中国による尖閣諸島侵略のシミュレーション

① 中国政府が突然、「尖閣諸島を中国の行政区画に組み込む（＝釣魚島を町にする）」と宣言。

② “中国の行政区画”である尖閣諸島に、大量の漁船団が押し寄せる。

③ 海上保安庁の海上警備行動に対して、中国は「漁民保護」を名目に公船、または軍艦を出動させる。

④ 中国が尖閣諸島周辺を「軍事演習地域」に設定。ミサイル発射などの軍事演習を開始すると共に、尖閣諸島に兵士が上陸。実効支配を固め、やがて軍事基地化する。

す。（産経新聞7月13日付）。

こうした中国側の発言が現実となり、尖閣諸島が侵略を受けると可能性は十分にあります。

もし、そうした事態が発生した場合、日本に尖閣諸島を奪還する戦略や手段があるでしょうか。

実は、そのための数少ない「切り札」の一つが、米軍が普天間基地に配備しようとしているMV22オスプレイだと言われています（オスプレイの性能や安全性は、14ページのマンガを参照）。

中国の工作活動に
だまされてはいけない!

作:かまゴン

オスプレイの真実

2013年夏から、MV22 オスプレイがアメリカ大統領に随行するスタッフや報道陣の国内移動に使われることが決定しました！
随行スタッフの移動にオスプレイを使用することは、安全運用に対する米軍の揺るぎない自信の裏づけです。



配備されたら誰が困るのか? !詳しくは次をご覧ください。

オスプレイの事故率は低い!!

オスプレイ事故率 (モロッコ墜落事故後)

機種	事故率
MV-22	1.93
CH-46	1.11
CH-53E	2.35
CH-53D	4.51
AV-8B	6.76
米海兵隊全体	2.45



MV-22オスプレイは、他の海兵隊の機種より重大事故率は低いのです。CH-46は約50年前から使われており、老朽化したため、新機種に換える必要があります。

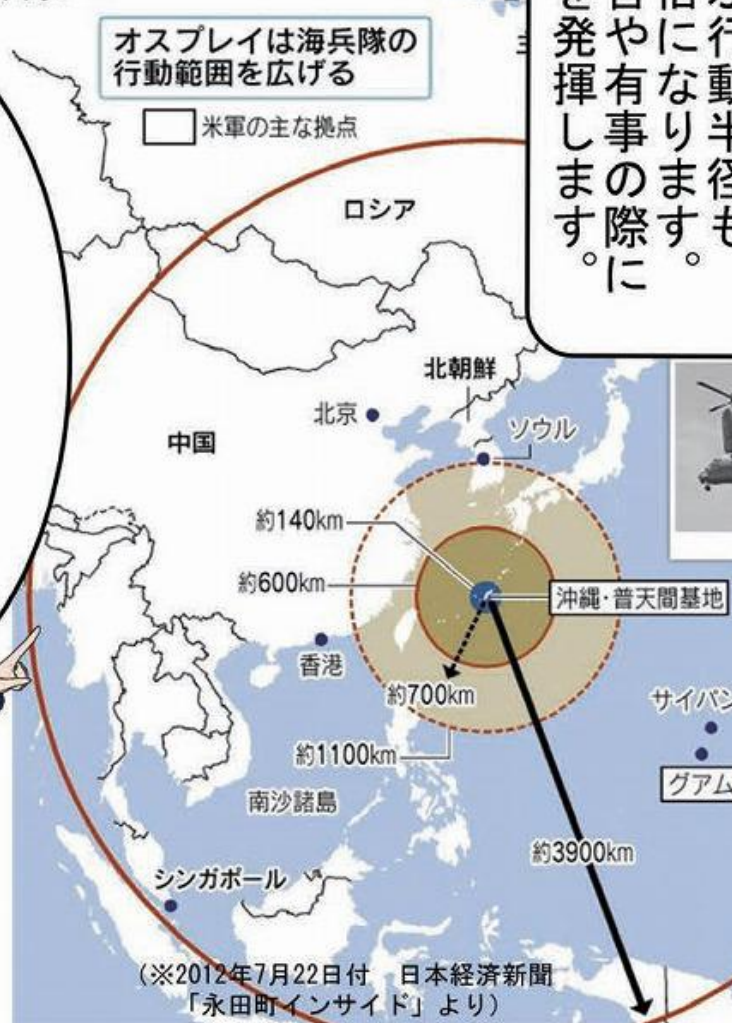


オスプレイはCH-46に対し、最大速度が2倍、搭載量は4倍、飛ぶ行動半径も4倍になります。災害や有事の際に力を発揮します。

オスプレイは海兵隊の行動範囲を広げる

□ 米軍の主な拠点

さらにオスプレイは、台湾・尖閣・沖縄侵略を狙う中国への大きな抑止力になります。中国は左翼運動家やマスコミを通じて工作活動を行っている、配備阻止を狙っています。



行動半径

- 現行のCH46
- オスプレイ (空中給油なし = 4.2倍)
- オスプレイ (空中給油1回 = 7.8倍)

航続距離

- 現行のCH46
- オスプレイ (5.5倍)

(※2012年7月22日付 日本経済新聞「永田町インサイド」より)



日本奪還

たった一人の勇気が、世界を変える。



製作総指揮 大川隆法

ファイナル ジャッジメント The Final Judgement

三浦孝夫 / ヴァリ・ティラカラサ / 海東健 / 田村亮 / 六角鏡
大串 / 永田美穂 / 飛渡光輝 / 深津友貴 / 水澤愛姿 / 雲母 / 竹川まじみ / 志村東吾 / 幸樹史朗
企画：大川隆法 音楽：水澤有一 監督：徳本彰徳
脚本：「ファイナルジャッジメント」シリーズプロジェクト 総合プロデューサー：佐藤由史 小田正樹 CDプロデューサー：加藤隆雄 監修：徳本彰徳
監製：宮川昌博 制作：金子誠浩 美術：丸尾知行 ラクオロ映画プロデューサー：矢野明男 録音：飯野一夫 装飾：藤田 高橋弘典 高橋昌樹 編集：中野 亮
VFXスーパーバイザー：和田真由 監製：酒巻謙二 プロモーション：エクスパンション 助演：菅井 山内健樹 製作：徳本彰徳
製作：幸福の科学出版株式会社 制作プロダクション：ジャンゴフィルム 配給：日活

2012年6月2日、近未来予言映画 全国ロードショー
www.fj2012.com

8月より沖縄各地で ふたたび上映開始!

近未来予言映画
「ファイナル・ジャッジメント」
大好評により、
セカンドラン 決定!

お問い合わせ
幸福の科学 沖縄本部
TEL 098-862-3005

「ゆんたくしーサー」愛しているから守りたい! VOL.2 2012年8月発行 発行/幸福実現党 編集人/矢内筆勝
お問い合わせ/幸福実現党本部 〒107-0052 東京都港区赤坂2-10-8 電話03-6441-0754

中国の侵略から沖縄を守れ!

緊急 国際シンポジウム

中国の侵略を受け、自治区にされてしまった
国々の方々と国防の専門家が、中国の脅威の現
実と、沖縄に迫る危機について語ります。

9月17日 (月・祝)

13:00 ~ 15:00

場所：ロワジュールホテル那覇 天妃の間
〒900-0036 沖縄県那覇市西3-2-1

アクセス

- [車]
那覇空港より7分
(那覇うみそらトンネルを出て右折後約3分)
- [ゆいレール]
モノレール「旭橋駅」下車徒歩6分
(旭橋交差点を東町方面へまっすぐ)

中央アジア研究所代表
トゥール・ムハメット氏



元防衛大学校教授
本村久郎氏



モンゴル自由連盟党幹事長
オルホド・ダイチン氏



国際シンポジウムに関するお問い合わせ

幸福実現党 沖縄県本部
沖縄県那覇市安謝1丁目2-13 TEL 098-941-7770